

平成 29 年度研究推進計画

海田西小学校

○研究主題

「主体的に学ぶ児童の育成」

－協働・対話による「課題発見・解決学習」の授業づくりを通して－

○研究主題設定の理由

21世紀に求められる資質・能力を育成することは喫緊の課題である。「基礎的な知識及び技能」と「思考力，判断力，表現力その他の能力」「主体的に学習に取り組む態度」の学力の三要素を一体的に育み，この三要素を連関させることは，学びの質や深まりを重視する教育や授業の創造が不可欠となる。¹本校は，昨年度から「主体的に学ぶ児童の育成」を主題に研究に取り組んできた。

学力調査の結果では，「基礎・基本」定着状況調査では国語タイプⅡでは県平均＋15.9pt，算数タイプⅡでは＋11.2pt，理科タイプⅡでは県平均＋10.4t，また全国学力・学習状況調査では，国語 B が全国平均＋13.2pt，算数 B が全国平均＋13.2pt と，平均を上回る結果を残している。しかし，全国学力国語 B 「目的や意図に応じてグラフをもとに自分の考えを書く」問題では正答率 55%（全国平均 51.4%）であった。また，「基礎・基本」国語タイプⅡ「情報の取り出し」情報に関係付けて記述では正答率 36.8%（県平均 29.9%），理由や事例をあげた記述では正答率 31.6%（県平均 16.3%）であった。また，CRT 標準学力調査からは，関係付けて考えたり，記述したりする力が共通した課題であることが分かった。

これらの結果から，「基礎的な知識及び技能」と「思考力，判断力，表現力その他の能力」においては，一定の定着が図られていることがわかる。これらの成果は，昨年度までの取組の効果と考えられると共に，主体的に学ぶ児童を育むための「課題発見・解決学習」の手立ての方向性を示す結果でもある。

これまでの取組を踏まえ，課題解決のための方策として新たに「協働」と「対話」を取り入れる。この 2 点を手立てとすることで，かかわりから思考力を深め，判断力や表現力を必要とする場や状況を仕組み，学びの必然性を作ることができると考えるからである。

そこで本年度の研究主題を「主体的に学ぶ児童の育成」とし，サブテーマを「協働・対話による『課題発見・解決学習』の授業づくりを通して」とする。

○研究仮説

単元・授業において「課題発見・解決学習」を設定し，「協働」や「対話」を手立てとしたより有効な授業内容・方法の開発を通して授業改善を進めれば，主体的に学ぶ児童を育み，思考力・判断力・表現力を伸ばすことができるであろう。

○研究内容

「海田町『21世紀型能力育成総合対策事業』（海田西中学校区）」（以下西中 21）による取組

- ・海田西中学校区での連携を軸とした学力向上のための教科・領域の研究。
- ・「国語科」「算数科」「社会科」「生活科」「総合的な学習の時間」等における

る「課題発見・解決学習」を有効に活用する授業づくり。

- ・教科で求められている力をより高めるため、NIEを手立てとした授業開発を教科・領域で行う。

○研究の方法

- 1 海田西中学校区の連携による授業研究及び協議
- 2 自校における授業研究及び協議
(模擬授業の実施・ブロック研修・全体研修)
- 3 研究教科における「協働」「対話」を手立てとした「主体的に学ぶ」授業づくりの開発・検討
- 4 NIEを手立てとした「総合的な学習の時間」「生活科」「国語科」「社会科」「算数科」及びその他教科・領域における「課題発見・解決学習」の授業づくり
- 5 育みたい思考力・判断力・表現力の授業における有効性の検証
- 6 NIEで育む力の授業における有効性の検証

○検証について

1 検証の視点

- ①「課題発見・解決学習」を有効に活用する授業構成になっていたか。
- ②児童の主体的な学びのための工夫がされていたか。
- ③授業におけるかかわりあい（協働的な学習）や話し合い（対話）を通して深い学びが実現していたか。
 - ・協働…共に活動することで学び（見方，考え方，わかり方等）が深まる。
 - ・対話…場や内容に応じた他者とのコミュニケーションがとれる

※授業における「協働」「対話」の留意点及び評価を，授業研究及び協議を通して具体化し，検証する。

2 検証の方法と指標

検証の方法	検証の指標	目標値
学力調査	・CRT（標準学力調査）の活用問題において，国語，算数，理科の平均通過率	30%未満の児童を学級で20%未満
児童アンケート	・西中21アンケート，学校作成NIEアンケートにおける肯定的評価の割合	西中21 肯定的評価85% 学校 肯定的評価70%

○各教科・領域で育みたい思考力・判断力・表現力を下表のように設定した。

教科領域	育みたい思考力・判断力・表現力	事例
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・相手や目的，意図に応じ，話したり聞いたりして自分の考えを明確にしている。 ・相手や目的，意図に応じて文章を書き，自分の考えを明確にしている。 ・目的に応じて内容を捉えながら読み，自分の考えを明確に 	<ul style="list-style-type: none"> ・伝えたいことの中心がうまく伝わるように，話の組み立てを考えて話したり，話の中心を考えながら聞いたりする。 ・伝えたい中心をはっきりさせ，組み立てを考えて文章を書く。 ・目的に応じて資料を読み，自分の考えを話したり書いたりする。

	している。	
社会	・社会的事象から学習問題を見出して追究し、社会的事象の意味を思考・判断したことを適切に表現している。	・資料を使ってその説明を加えながら自分の意見を発表したり、図に整理したものやイラストなどを使いながら自分の考えを表現したり、説明したりする
算数	・日常の事象を数理的に捉え、見通しを持ち筋道立てて考え表現したり、そのことから考えを深めたりするなど、数学的な考え方の基礎を身に着けている。	・解き方や考え方の説明をノートなどに書く。 ・解き方や考え方を話し合う時に理由をあげて式、言葉、図、表、グラフなどと関連付けて自分の考えを説明したり、伝え合ったり説明したりする。 ・解き方や考え方を絵や図などに表して考える。
理科	・自然の事物、現象から問題を見出し、見通しを持って事象を比較したり、関係付けたり、条件に着目したり、推論したりして調べることによつて得られた結果を考察し表現して問題を解決している。	・自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりする。 ・自分の考えや予想をもとに観察・実験の計画を立てる。 ・観察や実験の結果をノートやグラフ・表などに記録したり記述したりする。 ・観察や実験の結果からどんなことが分かったか考える。
生活	・具体的な活動や体験において、自分なりに考えたり、工夫したりしたことを表現している。	・日常生活や体験的な学習活動の中で感じ取ったことを言葉や歌、絵、身体等を用いて表現する。
総合	・自分で見つけた課題について主体的に調べたり、考えたり、判断したりして、学び方や考え方を身につけている。	・「まとめ・表現」の過程において、自分たちが収集した資料を使って説明を加えたり、図や表に整理したものを使ってまとめたり、自分の考えを発表したりする。

参考：広島県教育委員会HP 広島県立教育センター「H25カリキュラム研究報告」

○NIEをツールとした授業において育んでいきたい力を下表のように設定した。

NIEで育む力			
	ことばの力	書く力	表現力
1年	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞の中から、知っている言葉をさがす。 ・見出しと写真の関係に気付く。 ・新聞の中の読むことができる字を楽しんで読む。 ・見出しや題をつける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞の写真に対しての感想を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な新聞づくりを楽しむ。 ・感想や意見を交流する。 ・考えた事を相手に伝える。
2・3年	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞の中から知っていることばや漢字をさがして見つける。 ・見出しには、大切なことが書いてあることに気付く。 ・新聞の中の読むことができる文字を進んで読む。 ・見出しや題を、理由を考えてつける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞の写真や記事に対しての感想を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的を持って新聞をつくる。 ・感想や意見を交流し、互いの良いところを見つめる。 ・相手に応じ考えた事を、順序を整理してわかりやすく表現する。
4・5年	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞の中のことばと自分の生活を関係付けて考える。 ・見出しの効果がわかる。 ・新聞の中の興味のある記事を読む。 ・記事の中から書き手の考えをつかむ。 ・見出しや題を、内容にあわせて工夫してつける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞の写真や記事に対して意見や感想を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的や意図のある新聞をつくる。 ・自分なりの基準で記事を読み、内容を評価する。 ・感想や意見を伝え合い、よいところや直したらよいところを見つめる。 ・相手に応じて、理由や事例を挙げて整理し工夫して表現する。

6 年	<ul style="list-style-type: none"> ・記事の見出しや内容と自分の生活，社会の状況を関係付けて考える。 ・見出しの意図を考えることができる。 ・いろいろな記事に関心を持ち，幅広く読む。 ・記事の意図を考えて読む。 ・見出しや題を内容に合わせて工夫し，効果的につける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな見方・考え方から自分の意見や考えを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的や意図に応じた工夫をして新聞を作る。 ・日常生活や社会の様子から関心のある記事を選び，内容について自分なりの基準で評価する。 ・感想や意見を交流し互いに助言し合う。 ・感想や意見を，理由や根拠をあげて話し合う。 ・相手や目的に応じて理由や事例を挙げたり，意見と事実を区別したりして，内容を工夫して表現する。
--------	--	--	--

※参考：広島県教育委員会HP 平成27年度徳島県NIE推進協議会実践報告書

i 国立教育政策研究所

平成26年度プロジェクト研究調査研究報告書 「資質・能力を育成する教育課程の在り方に関する研究報告書1～使って育てて21世紀を生き抜くための資質・能力～」